



GPWU Reunion since 1999

同窓会幹事各位

同窓会幹事会及び総会のご報告

幹事の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととご推察いたします。

同窓会も発足12年目を迎えることとなりました。たくさんの意見をいただきながら、新たな活動を検討し、皆様と協力して、よりよい同窓会活動にしていきたいと考えています。

さて、過日女子大において行われました平成22年度幹事会及び総会の議事録を送付します。ご確認いただき、提案や意見等がありましたら、ご連絡いただければと思います。

同窓会 平成22年度幹事会

日時：平成22年5月29日（土） 10:30 ～ 11:15

場所：群馬県立女子大 新館6F会議室

出席者：卒業生12名、学生（錦野祭実行委員）7名、女子大事務局学生係利村補佐^{としむら}

同窓会 平成22年度総会

日時：平成22年5月29日（土） 13:00 ～ 13:50

場所：群馬県立女子大 新館6F会議室

出席者：卒業生16名、女子大事務局学生係利村補佐^{としむら}

以下協議事項及び総会決議事項

<議事>

*平成21年度活動報告・会計報告・会計監査報告について（総会承認済）

- 書記、会計、監事により、報告、承認を受けました。（別紙参照）

*平成22年度活動予定・予算案について（総会承認済）

- 書記・会計により提案、承認を受けました。（別紙参照）
- 平成22年度予算案の支出の「事務費」について、「21年度7万円の予算に対して13万円の支出があり、22年度では5万円の予算が計上されている。この差はどういうことか」と質問がありました。会計から「昨年は封筒などの消耗品を一括購入したため予算を上回ったが、今年度はその分の出費が抑えられるため」との説明がありました。

*支援金について（総会承認済）

- 会長から学生支援金の今後の活用について、「学生の活動を支援するという意味で、定期的に錦野祭実行委員会に5万円を支援していくのはどうか」と提案がありました。錦野祭実行委員（山岸委員長以下7名）が幹事会に出席し、「支援金のお願いに関して」として、支援依頼の説明をしました。

同窓会としては、運営の面からも収益を考えることを見直すなど、実行委員会の今

後の努力を期待すること、また、高校生などへのアピールや学生生活の活性化をさせるために支援金を活かしていく方向での使用を原則に、その用途は委員長に一任すること等が話し合われました。

<報告>

*学生生活活動支援金活用報告

- 学生生活活動支援金の活用について、対外的な行事で大学をアピールすることを目的とした美学学生デザインのはっぴ制作に10万円、学祭のアカペラの企画に5万円支援したことが報告されました。

支援の理由として、はっぴ制作は、試合の応援や留学生が留学先でのセレモニー等に出席した場合に活用できるため必要と認めたこと、アカペラの企画は、学祭を盛り上げるために学生が企画したイベントを支援するため、とそれぞれ説明されました。

*携帯サイトの立ち上げ

- 前年度にHPの修正案が出たこともあり、メニューバーを日本語にしたこと、更新履歴を明示したこと、住所変更の連絡方法を掲載したこと、等について説明された。

さらに、サーバー管理費が年間34千円から19千円に値下げされることに伴い、携帯サイトを立ち上げることが報告されました。

<その他>

*会費について（幹事会提案事項、継続審議）

- 会計から「会費の収入が年々減少しており、このままでは同窓会の活動に支障が出かねない。そこで、新入生の会費を値上げすることを検討したい」と提案がありました。

この案について、「通常、同窓会は卒業してから入会するものであり、在学時には恩恵が少ないと考えられるため、値上げは見合わせるべきではないか」との意見がありました。

これに対し、「紫桜賞や学生生活活動支援金といった形で在学学生を支援しており、恩恵が少ないとは考えられない」とした上で、提案内容について再考することが話し合われました。

*卒業準備金預かり制度

- 会長から卒業準備金預かり制度による預かり金の合理的な解消方法について、意見募集ののちに解消することが提案されました。

あわせて、預かり金が卒業期の全員から集めたものではなく、特定もできないことから、返金等の方法が困難であることなどが報告されました。

その結果、旬花報の送付時に該当する卒業生にはお知らせを同封して意見を募集し、翌年の旬花報発送にて決定内容を報告することなどが話し合われました。

この提案について新たな案がある場合は、12月くらいまでに役員まで提案してもらうこととしました。

平成22年 6月吉日

群馬県立女子大学同窓会

会長 野村 留美子